アングルラス
プラスターネット

ニチラス®

株式会社　ニチラス

アングルラスLAS型・LASS型　プラスターネットLAP型

アングルラスとプラスターネットはJIS G3302 Z08の溶融亜鉛メッキ鋼帯から造られた製品で防錆効果が高く、幅広く安心してご使用いただいています。

◆用途

●外壁、間仕切壁のモルタル等 及び耐火材吹付け用の防水紙付きリブラスです。

◆特長

●大小のリブ構成と強い網目を持っています。

●大リブにより浮き上がった網目の裏側に塗り壁材が廻り込み、ラスがサンドイッチ状になるため、風圧、衝撃、地震などに対する抵抗性が強く、剥離、剥落のない丈夫な壁ができるよう考案されています。

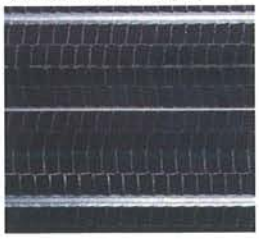
●LAT型１～３及びLAS型１、２のラスは、JIS A5505メタルラスRC-800-05の規格品です。

◆種類

アングルラス（汎用タイプ）	LAT型-1、2（鉄網＋防水紙）（防水紙はポリミック紙を使用）	強度の高いリブにより柱・間柱・胴縁に直打ちでき、下地板を省略することができます。防水紙付きなので、作業能率が向上します。
	LAT型-3（鉄網＋防水紙糊付け）（防水紙はターポリン紙を使用）	外壁通気工法に使用します。リブの強度と防水紙の張力により、コテ圧で通気層が塞がれるのを抑制します。
アングルラス（汎用タイプ）	LAS型-1、2（鉄網のみ）	防水紙が先行して張ってある壁面や軒裏等に適しています。また、耐火被覆材などの吹き付け下地にも使用できます。
	LASS型　（鉄網のみ）	リブの高さが３㎜と小さいブラスです。
	LASS型-R（鉄網のみ）	コブの付いたリブラスで、コブによって浮き上がったラスが塗り付け材料の芯付近に納まるよう工夫されています。
プラスターネット（網目の小さいタイプ）	LAP型-1S（鉄網のみ）	網目が小さく、耐火被覆材などの吹き付け下地に適しています。

LAT網目形状
（網目寸法/16.2×12.4）

LAS網目形状
（網目寸法/16.2×12.4）



LASS型－R
（網目寸法/16.2×12.4）

コブ形状

プラスターネット網目形状
（網目寸法/11×7.5）

アングルラスLAT型

〈製品名と標準規格〉

●防水紙付き（汎用タイプ）

品　名 アングルラス	略品名	リブ芯間	長さ	鋼板厚さ	リブ山高	リブピッチ	網目の大きさ	リブ間網目数	防水紙を含む1枚の重量	ラス質量	梱包数量	防水紙	備　考
		mm						目	g/枚	g/㎡	枚	枚	
LAT型-1	LAT-1	900	1850	0.3	5	75	16.2×12.4	4	1577	831	20	1	一般用 ポリミック紙
LAT型-2	LAT-2		2000						1704				
LAT型-3-1	LAT-3-1		1880						1650	831			通気用 ターポリン紙
LAT型-3-2	LAT-3-2		2100						1842				

※原板規格は、JIS G 3302　Z08 溶融亜鉛めっき鋼帯
※製品改良のため、仕様は予告なしに変更することがあります。

〈製品の形状〉

LAT型（LAT型-1,2,3）（防水紙付き）

●鉄網のみ（汎用タイプ）

品　名 アングルラス	略品名	リブ芯間	長さ	鋼板厚さ	リブ山高	リブピッチ	網目の大きさ	リブ間網目数	鉄網1枚の重量	質量	梱包数量	防水紙	備　考
		mm						目	g/枚	g/㎡	枚	枚	
LAS型-1	LAS-1	900	1850	0.3	5	150	16.2×12.4	4	1383	831	20	—	一般用
LAS型-2	LAS-2		2000						1495				
LASS型	LASS		2020		3		16.2×12.0	8	1280	704			コブ付き
LASS型-R	LASS-R		2000										
LASS型-C	LASS-C		300						190				出入隅用
プラスターネット	LAP-1S		1900		5		11.0×7.3	6	1421	831			モルタル下地 耐火吹付け下地

※原板規格は、JIS G 3302　Z08 溶融亜鉛めっき鋼帯
※製品改良のため、仕様は予告なしに変更することがあります。

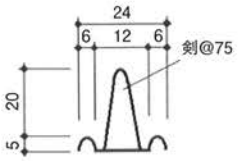
〈製品の形状〉

LAS型（LAS型-1,2）（鉄網のみ）

アングルスタッドAS型（鉄骨造へのラス留め用金物）

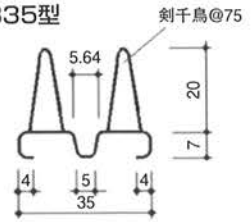
鉄骨の胴縁や軽鉄LGSにAS型を溶接やビス留めしてラス受け下地を造ります。

AS824型



[柱・梁に直付けするタイプ]

AS835型



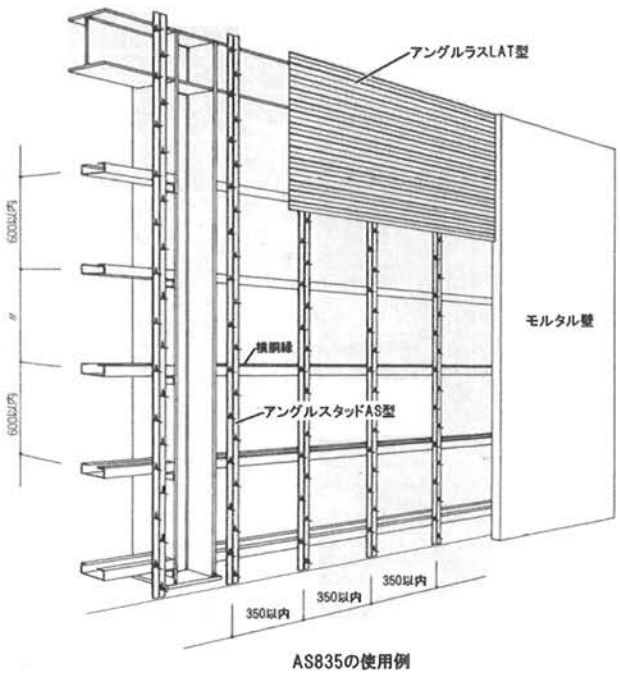
[胴縁・母屋に取り付けて、中空下地を形成するタイプ]

〈製品名と標準規格〉

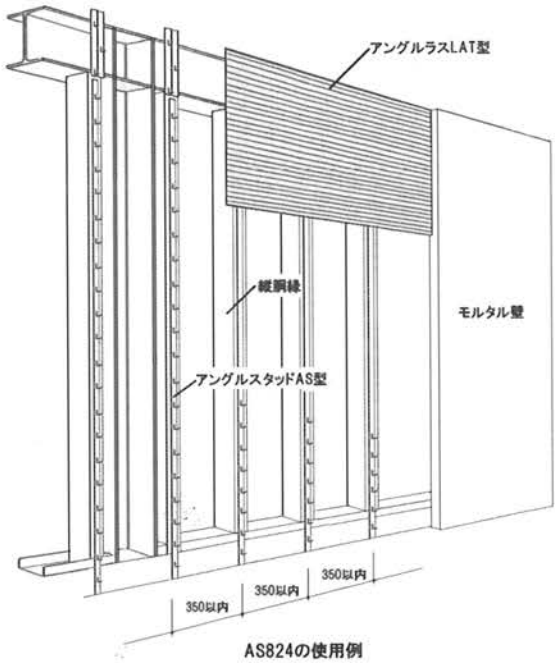
品名 アングルスタッドAS型	略品名	標準規格 mm 長さ	高さ・巾	鋼板厚	重量(約) g/本	原板規格	梱包本数
AS824型	AS824-2	2700	5×24	0.8	579	JIS G 3302 Z08 溶融亜鉛めっき胴帯	40
	AS824-3	3600	5×24	0.8	772		40
AS835型	AS835-2	2700	7×35	0.8	1003		32
	AS835-3	3600	7×35	0.8	1337		24
AS535型 形状はAS835と同じだが厚さが異なる	AS535-2	2700	7×35	0.5	644		32

※製品改良のため、仕様は予告なしに変更することがあります。

※配送の都合上、路線便では長さが2.0m以上の製品では配達出来ない場合があります。その場合2.0m以下に加工しての出荷になります。



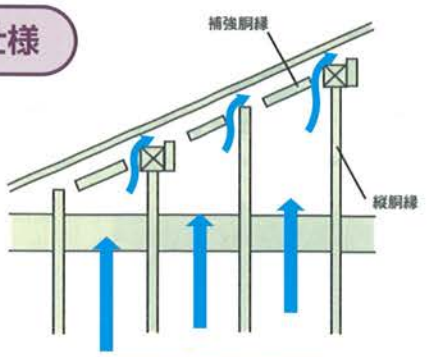
AS835の使用例



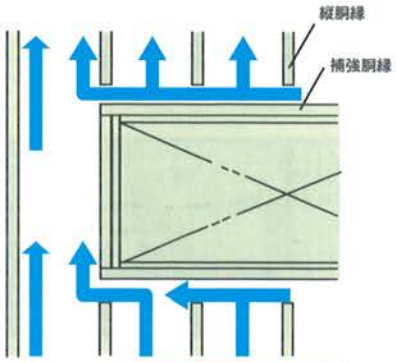
AS824の使用例

通気工法の胴縁の付け方

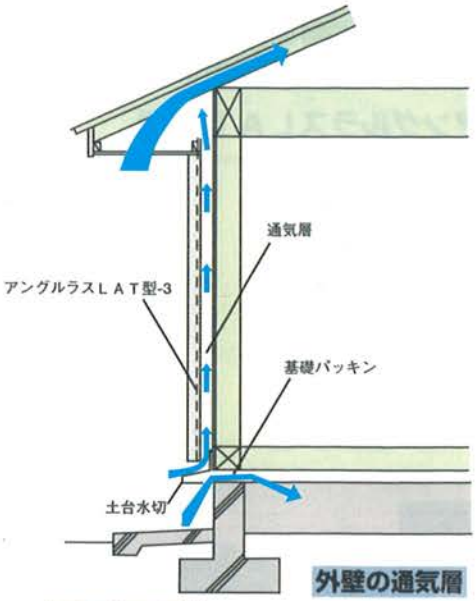
工法仕様



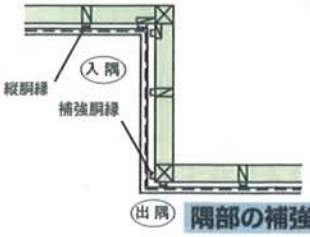
ヤギリの補強胴縁



開口部の補強胴縁

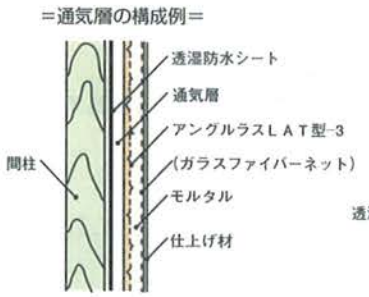


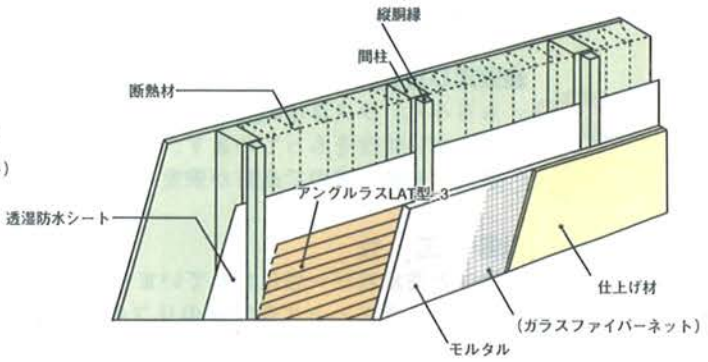
外壁の通気層



隅部の補強胴縁

様式図





壁内結露と通気層

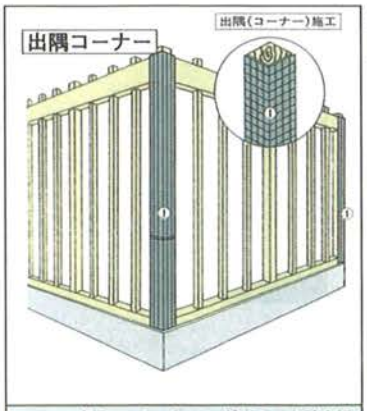
●壁内にある空気の温度が、その周辺との温度差により露点温度以下になると、壁内の水蒸気は凝結して水滴になります。この現象が壁内結露と呼ばれ、カビ、腐食、錆などの原因となり、建物の耐久性に大きな影響を与えることもあります。

●壁内、特に外部に面する壁内に、微速気流を発生させて壁体内の湿気を放出する仕組みが通気層（構法）です。

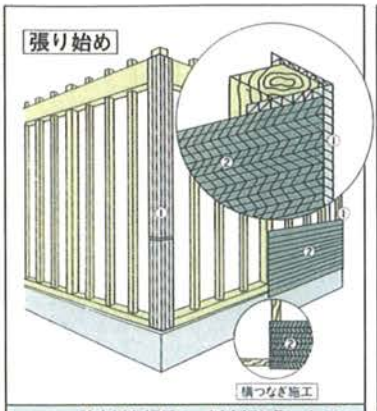
アングルラスLAT型の基本的な張り方

木造の間柱、胴縁への施工要領《鉄骨造の場合も張り方は同じです》

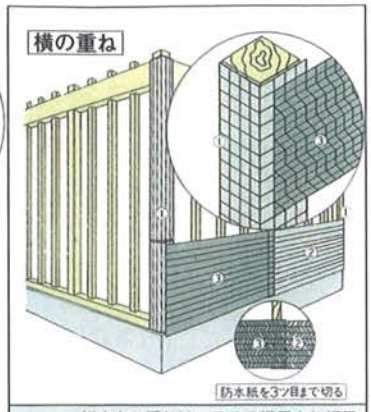
●アングルラスLAT型は、張り易いように予め防水紙とラスがズラしてあります。



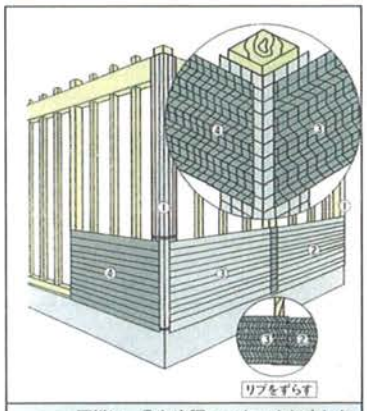
1 出隅コーナーにアングルラスを防水紙が付いたまま、縦に折り曲げて張る。



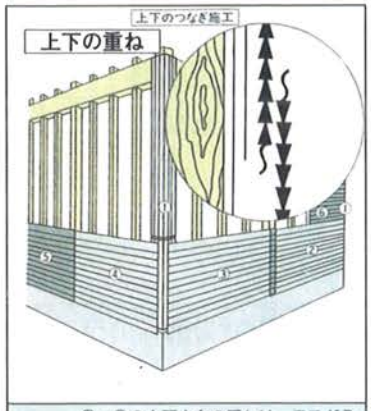
2 防水紙を網目３つ以上切り取ったラスをコーナー部分より少し開けて、出隅下張りラスの上に重ねて張り、タッカー針で仮留めしていく。



3 横方向の重ねは、ラスの網目より網目３つ以上が重なるようにする。重ねは、間柱、又は、胴縁上で行う。

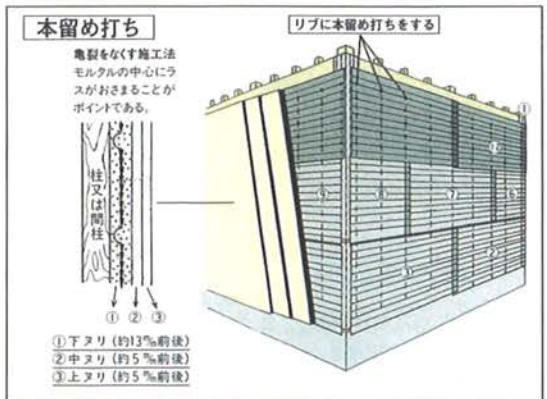


4 同様に、④を出隅コーナーより少しあけて、出隅下張りラスの上に重ねて張る。

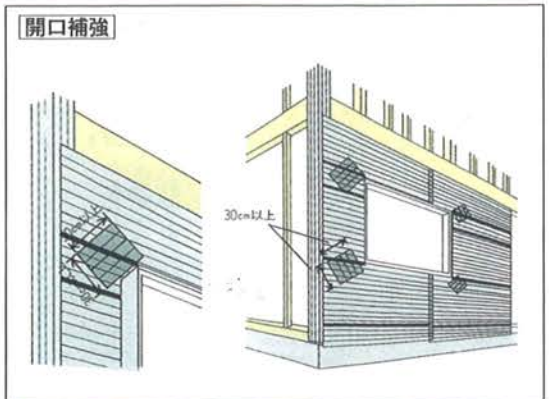


5 ②−⑥の上下方向の重ねは、ラスどうし、防水紙どうしのそれぞれが重なるようにする。

6 ⑦より⑪へとアングルラスを張る。



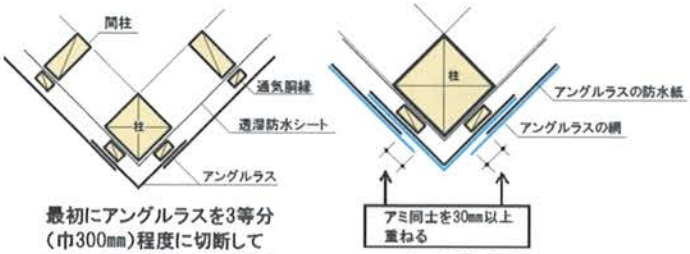
7 ⑫より順にアングルラスを張り終え、リブに向けて防錆処理された釘又は、ステープルで本留め打ちをする。



8 窓枠の角コーナーは、30cm×30cm以上のアングルラスを切って補強する。補強するラスの防水紙は除去する。

※グラスファイバーネットを伏せ込む事で開口補強を省略出来ます。

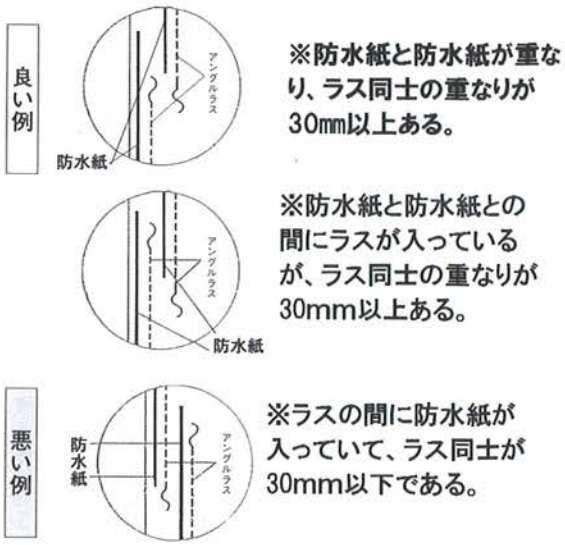
LAT型　施工の要領と注意点
隅部の取付要領



最初にアングルラスを3等分
（巾300mm）程度に切断して
出隅、入隅の柱に縦張りする。
※突き付け施工ではいけません。

コーナー部拡大図

防水紙あわせ要領

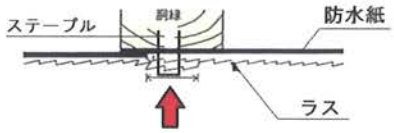


※防水紙と防水紙が重なり、ラス同士の重なりが30mm以上ある。

※防水紙と防水紙との間にラスが入っているが、ラス同士の重なりが30mm以上ある。

※ラスの間に防水紙が入っていて、ラス同士が30mm以下である。

胴縁での横ジョイント取付要領



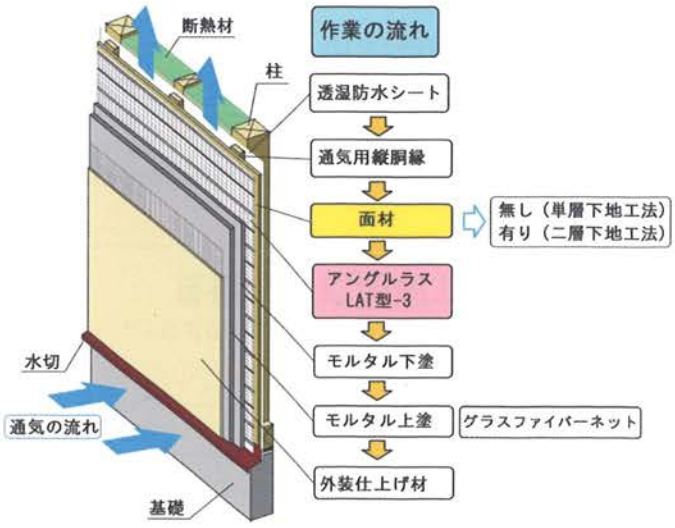
ラス同士を30mm以上重ねてください。
必要に応じて防水紙を切取り加工します。

ステープルによる留め付けの場合

胴縁又は面材に防錆処理されたT線以上のステープルで足の長さ25mm以上を使用して留め付けします。

留め付け間隔は、
上下方向@150mm以内
左右方向@500mm以内
としてください。

※リブを潰さないようにエアー圧を調整してください。



モルタル壁　通気工法

※通常は面材なしの単層下地工法で施工します。

アングルラスLAT型-3施工状況

開口廻りの補強ラス施工状況

アングルラスLASS型-Rの基本的な張り方

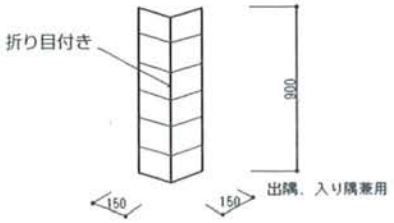
施工要領《下地板が張ってある場合に適用します》

●コブどうしを重ね合わせる。

●張り終わったら、リブ部のコブ位置全てにステープル打ちをして本留めする。

1. 出入り隅コーナー用ラスを張る

■ 折目付きですので、出隅または、入り隅のどちらにも使用できます。

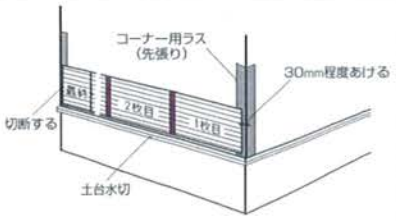


2. 張り始め

◇ 防水紙が全面に張ってあることを確認する。

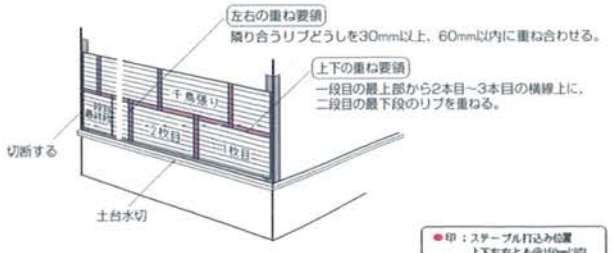
■ 各面ごとに、右下から順に左方向へ張っていく。

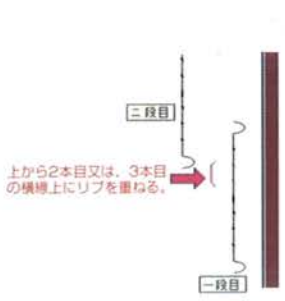
■ 左右の重ねは、リブどうしを重ね合わせる。
重ね寸法は30mm以上60mm以内にする。



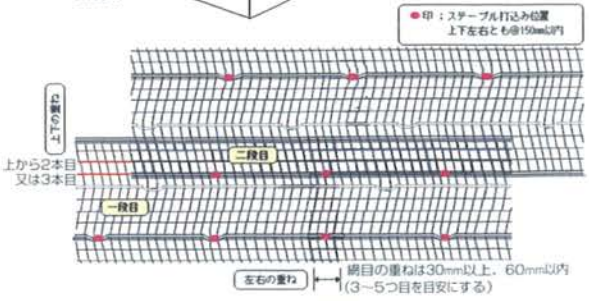
3. 二段目以上を張る

■ 二段目からは千鳥張りにする。





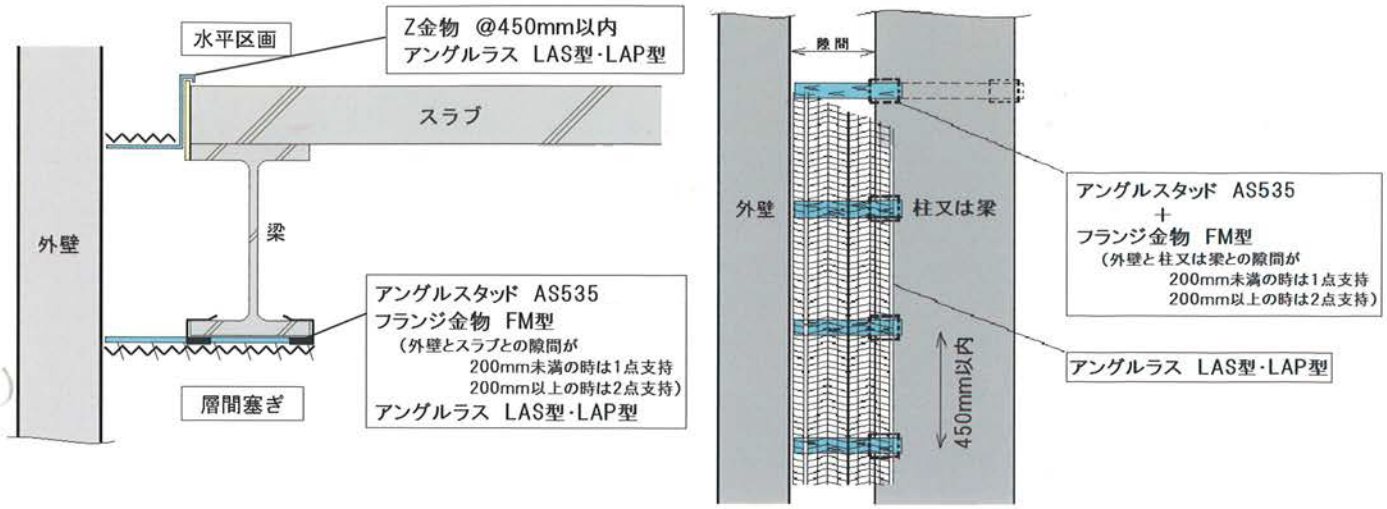
［断面図］



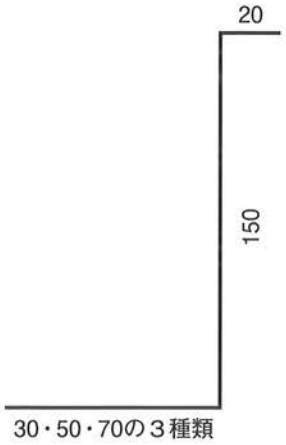
［正面図］

耐火被覆下地 〔無溶接工法〕
下地構成材の標準納まり図（柱・梁・スラブ）

※フランジ金物 FM型にAS535はスライド差し込みできますが、AS835は差し込みできません。
（フランジ金物FM型とAS535はセットでご使用ください。）

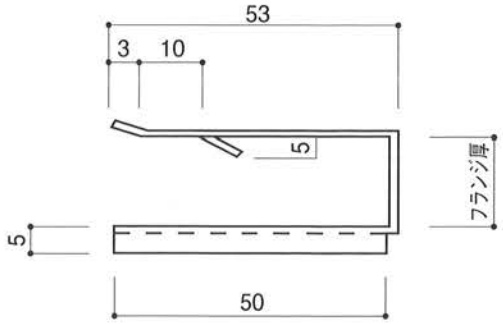


略品名：Z金物



30・50・70の３種類

略品名：フランジ金物無溶接用（FM）



フランジ金物　FM型

略品名	フランジ使用厚 (mm)	重量 (≒g/ヶ)	原板材質	メッキの両面付着量
FM-11	8～11	43	JIS G3302 Z08 溶融亜鉛めっき鋼帯 又は 同等品 以上	Z08
FM-13	10～13	44		
FM-16	13～16	45		
FM-19	16～19	45		
FM-21	18～21	47		
FM-25	22～25	48		
FM-28	25～28	50		
FM-32	29～32	51		
FM-37	34～37	53		
FM-42	39～42	55		
FM-52	49～52	58		
FM-57	54～57	60		
FM-62	59～62	62		

鉄骨梁下端の耐火被覆下地の作業の流れ

耐火被覆
吹付け下地完成

アングルラスのジョイントを
結束線で固定する

アングルラスを張りAS535の
爪を曲げリブを固定する

フランジ金物FM型をスライドして
下フランジに取付け

フランジ金物FM型にAS535を
スライドして取付け

鉄骨縦胴縁にAS824を溶接して下地組の状況

ご用命は販売・施工代理店へ

株式会社 ニチラス

本社・工場／〒683-0103 鳥取県米子市富益町53-2
TEL（0859）25-1300　FAX（0859）25-1350
東京営業所／〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-27-2 グランドステータス幸和ビル2階
TEL（03）3993-3251　FAX（03）3993-3254
名古屋営業所／〒465-0092 名古屋市名東区社台1丁目60番地 エイコービル2階西
TEL（052）772-8618　FAX（052）772-8667
大阪営業所／〒562-0035 大阪府箕面市船場東1-10-9 箕面フレールビル512
TEL（072）749-3015　FAX（072）749-3016
福岡営業所／〒819-0001 福岡県西区小戸4-29-37 ウェーブ小戸ビル405号
TEL（092）881-6845　FAX（092）881-6845

※製品改良のため、仕様は予告なしに変更することがあります。ご了承ください。

190227